

学、海藻の機能性成分、エイコサペンタエン酸とドコサヘキサエン酸、フコキサンチンの生理機能、昆布とメタボリックシンドローム対応の健康成分とその機能)について、微細藻類や海藻に含まれる重要な物質の有効利用を目指した研究の最近の発展ぶりを平易に解説。微細藻類や海藻の幅広い利用のさらなる普及が大いに期待される講演であった。

アメリカ産チーズ輸入量、過去最高ペースを記録

アメリカ産チーズの国内輸入量は5年ほど前から上昇傾向にあり、今年1～7月の通関統計では前年比約1.7倍と大幅に増加している。これは、世界の乳製品需要が急速に高まり、将来的に供給が逼迫すると予想される中、世界のチーズ生産量を誇るアメリカの安定した供給能力が業界関係者の間で認識され、需要が高まっているからと考えられる。

また、上昇傾向にある国際相場に比べ、アメリカは国内市場と連動した独自の価格形成がなされている点や、アメリカの「チェダー」や「モンテレージャック」などの代表的なチーズの「マイルドで、伸びが良く、冷めてもおいしい」という使い勝手の良さが、食品メーカーや外食業界で受け入れられたことが挙げられる。

アメリカ産チーズは一般消費者にも受け入れられはじめている。世界各国のチーズを扱う大手チーズ専門通販店「オーダーチーズ・ドットコム」(<http://www.order-cheese.com>)では、アメリカ産チーズはクセのないマイルドさが料理に使いやすい、とユーザーに好評とのこと。「売れ行きは好調で

「野菜との相性が抜群でサラダにも良い」「パンに乗せて焼くとピザのようにチーズがとろりと溶けてまた違う感じに」「大理石模様で色鮮やかなコルビージャックはプレゼントにも最適」など、お客様の声を多数頂戴しました。リピーター数も増加傾向にあります」((株)オーダーチーズマネージャー・松田早苗氏)。さらに世界的に見ても、アメリカ産チーズの需要は高まっている。今年1～4月のアメリカのチーズ輸出量は前年比で43%アップ。日本のみならず各国への輸出が増加傾向にあり、特に新興国(中国、インド、東南アジア等)の外食市場への取組みが盛んで、台湾バーガーキングではアメリカ産チーズを使ったメニューが初めて導入されるなど、今後は世界の重要なチーズ供給国になるとみられている。

小松電機産業のシートシャッターがエコマーク認定

小松電機産業(株)(島根県松江市、小松昭夫社長)が製造販売している高速シートシャッター「門番」全シリーズが、(財)日本環境協会エコマーク事務局より、エコマーク認定を受けた。エコマーク認定を受けるのは高速シートシャッターが、シャッター製品として初めて。

認定を受けたのは門番GF05～20型、門番KV11～51型、WV31～41型、SV26～41型。シートシャッター「門番」は、主に工場・倉庫などにおいて、フォークリフト・搬送車・人などが出入りする建物の外部および内部の開口に設置される産業用シャッターで、カーテン部分がシート主体に構成され、人と物の出入りをセンサーで



エコマーク認定を受けたシートシャッター門番

自動検知し、高速高頻度で上下に開閉するシャッター。門番は一般的な鋼製シャッターに比べ約10倍～20倍の速さで開閉することにより、冷暖房効果を飛躍的に高め、屋内からのエネルギーの流出を低減することで、CO₂など温室効果ガス排出削減に効果を発揮する点が評価された。

「門番」は1985年の発売。防塵および防虫、冷暖房効果など、工場環境を変える決定的な製品として、自動車、食品、精密機器製造工場などで導入されており、累計業界最多の12万台を販売している。

飼料米放牧豚に関する地域連携事業がグッドデザイン賞を受賞

館ヶ森アーク牧場を運営する(株)アーク(岩手県東磐井郡、橋本晋栄社長)では、地元稲作農家と連携し牧場内で放し飼いにしている放牧豚のエサに飼料用米を給与した、新ブランド豚事業が(財)日本産業デザイン振興会主催の2010年「グッドデザイン賞(公共サービスシステム)」を受賞した。

同事業は「いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業」として採択され、同社と地元稲作農家